

伸びよう! 伸びよう! ひむかの青少年

はぐくむ

67号

平成31年3月
発行



今年は8つのモデル団体が
様々な取組をされました。

どの取組も青少年の健全な成長を
願って特色のある活動内容でした。

次年度もたくさんの団体に
地域ぐるみで参加できるよう
活動を県民会議は支援
していきます。

「はぐくむ」は宮崎県青少年育成県民会議の広報紙です。

〒880-8501 宮崎市橘通東2丁目10番1号 県庁福祉保健部こども家庭課内

電話：0985-26-7041 FAX：0985-26-3416

Eメール：miyazaki-sik@ab.auone-net.jp



地域における青少年育成活動への助成について

宮崎県青少年育成県民会議は、地域で青少年育成活動に取り組む団体に助成しています。

県内で青少年育成活動に取り組む団体への助成ですので、下記の条件等をクリアすれば助成金をお使いいただけます。

青少年育成・支援地域活動モデル団体助成要領

1 モデル指定対象団体

- 地域等の連帯を通じて青少年の健全育成活動に取り組んでいる宮崎県内の青少年育成団体

2 事業の種類

- 県民会議が提唱している「家族がふれあう5つの共感活動」（共遊・共食・共話・共汗・共働）をテーマとした体験活動等を地域において促進する事業
- 自然災害等の被災地の青少年との交流を促進することで青少年健全育成を図る事業
- 青少年が自分の将来について考えることを地域で支援・促進する事業等

3 取り組んでいただく内容例

- 豊かな人間関係に支えられた地域づくり等に関すること。
- 青少年の健全な育成に関する実践に関すること。
- 地域ぐるみで参加できる各種行事の企画及び実施に関すること。
- その他、モデル団体の趣旨に沿った啓発及び実践活動

4 モデル団体指定期間及び助成金額

- 指定期間は1年間とします。
- 助成金額は1団体100,000円以内です。

5 申請書について

- 指定の様式で申請書、事業計画書及び収支予算書を提出します。

6 事業報告書について

- 指定の様式で事業報告書を提出します。（活動の状況写真が必要です。）



平成30年度 青少年育成・支援地域活動モデル団体一覧

市町村名	モデル団体名	事業の種類
1 宮崎市	宮崎南小学校PTA 南かやっちみろ会	自然体験・ボランティア体験・創作活動をとおした児童の健全育成活動
2 宮崎市	生目台西小学校PTA	様々な行事をとおして児童と家族や地域住民との共感を促進する活動
3 日南市	大窪小学校PTA	地域の伝統芸能など様々な体験をとおして青少年の健全育成を図る活動
4 日南市	日南市青少年育成市民会議	様々な事業や体験をとおして青少年を地域で支援する活動
5 日向市	糸木臼太鼓保存会	地域の伝統芸能の伝承をとおした子どもと大人、高齢者との交流活動
6 西米良村	西米良村子ども会育成連絡協議会	森林環境教育や自然体験、スポーツをとおしての郷土愛を育てる活動
7 日之影町	日之影町青少年健全育成町民会議	各種行事をとおして家族や地域住民とのふれあいを推進する活動
8 日之影町	日之影町文化財愛護サークル活動連盟	町内の伝統芸能を継承し、文化財の保護と郷土愛を育成する活動

少年の主張全国大会～わたしの主張 2018～に参加しました。



「青少年の主張宮崎県大会」少年の部で、最優秀賞と優秀賞を受賞された3名に東京都で開催された「少年の主張全国大会」（平成30年11月11日（日））に参加していただきました。全国各都道府県代表の中から選ばれた12名の発表に直接触れることで様々な感動と刺激が得られ、本県の人材育成に寄与するものと考えています。

本県民会議では、会員の皆様のご支援により、様々な事業が実施されています。

今後とも皆様方のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

少年の主張全国大会に参加して（感想）

おがわ まみ
宮崎学園中学校 3年 小川 磨美

「交流会」に参加してまずははじめに感じたことは、皆の社交力の高さです。私は初対面なのだからたった二日間で仲良くなれる訳がない、と決めつけていました。しかし、開始約10分でその考えはくつがえされました。たまたま隣に座った子がどこから来たのかを聞いてくれ、さらに別の子が私の作文を読んでくれており、感想を言ってくれたのです。その後の意見交換では会ったばかりとは思えないほど緊張もほぐれ、皆が自分の意見をしっかりと発言して、恥ずかしがっている人など一人もいませんでした。意識の高い、県で一番の皆と交流できて本当に貴重な体験です。

大会当日の12人の主張で一番心に残ったのはいじめを受けた体験から、加害者、被害者、傍観者に訴えかけるものでした。心に響く涙ながらの主張でした。会場で聞くことができて良かったです。

一生忘れられない体験になりました。この大会に挑戦して良かったです。ありがとうございました。

さとう まさと
高千穂町立高千穂中学校 3年 佐藤 摩裟斗

今回、少年の主張全国大会に参加してみて、すごく感動しました。内容としては、大きく二つに分けられました。自分の住む地域の伝統や活動について主張する。もう一つは日本全国、もしくは世界のどこかにはある問題について自分の考えを述べるというものでした。僕が一番心に残ったのは、いじめについての主張でした。いじめは、全国のどこかにはある問題です。それを変えようと思う彼女の思いがものすごく伝わってきました。その思いが審査員の方々の心に届いたのだと思います。このいじめ問題について皆さんにも、考えてほしいと思います。

僕は、この経験を通し、学校でも何かのきっかけになればいいと思うし、少しでも人の手助けになる考え方をしなければならないと思いました。最後に、こんな貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。

まき ひなこ
西米良村立西米良中学校 3年 牧 紘奈子

今年も、昨年と同じ、とても貴重な経験をさせていただき本当にありがとうございました。同年代の子たちの様々な考え方や訴えを聞いて、心を動かされました。

特に心に残ったのは、「先生は三歳」という作文です。

「先生は三歳」という作文では、先生は必ずしも私達を導くだけでなく、子どもに導かれて得たことを元に、私達を導いていくのだなと思いました。子どもは、自分の教育を映し出す鏡であり、先生なのだなど納得しました。

この作文を聞いてから、自分なりに考えたことがあります。それは、自分に関わった人誰もが、自分にとっては先生なのだということです。そして、そんな先生達からの教えを広い心で受け止め、自分を成長させられるようにしたいです。そして、その恩を周りの人達に返すことができるような大人になりたいと強く思いました。

「知事に伝えよう 私の思い」～中学生・高校生が思いを知事に伝えました～



「青少年の主張宮崎県大会」<平成30年8月17日（金）開催>中学生及び高校生、それぞれの最優秀賞・優秀賞を受賞した5名の皆さんと、11月14日（水）に県庁講堂で開催された「知事に伝えよう私の思い」で河野知事に思いを伝えました。



将来の自立した生き方へ自覚を高める「立志の集い・立志式」

日本では人生の通過儀礼として七五三のお祝いや成人式など、様々な意味での節目があります。また、昔は数え年14歳の立春の日に「元服式」という儀式が行われていました。

これは「大人の仲間入りをする」という大きな節目でした。そして、現在は、県内の殆どの中学校で14歳になる第二学年を対象とした「立志の集い」あるいは「立志式」が開催されています。宮崎県青少年育成県民会議では毎年「はばたけ14歳」というパンフレットを配付しています。

今回は都城市立高崎中学校の「立志式」をご紹介します。

高崎中学校の「立志式」は、地域にある公民館の協力を得て実施しています。目的を『①自己の生き方や生活を振り返り、自己の生き方を追求する態度を育てる』『②3年生での進路選択を控え、自己理解や自己実現へ向けての機会とする』『③友達の将来への考え方や思いを学年で共有して、共に学び高め合う集団作りを目指す』として、次のような内容で開催されました。

立志の誓い

第1部

- 1 学年生徒会長による挨拶
- 2 生徒1人1人による立志の誓い
- 3 学年合唱「いのちの歌」

記念講演

「イママサの自転車山旅」

講師 今村 正美氏

(元 中学校教諭：自転車での日本一周
+47都道府県最高峰登頂達成)



生徒による立志の誓いの様子

今村 正美氏による記念講演

立志式に参加してー生徒の感想ー

- 挑戦することで、たくさんのが得られるということを学びました。これから生きていくうえで、大変なことや辛いこと、苦しいことがあると思いますが、諦めずに挑戦し続けたいです。
- 目標や夢をもつこと、家族や友達、周りの人たちに感謝すること、自分で判断することを心がけて、こつこつと少しずつ目標を達成して、自分の将来に期待して、過ごしていきたいです。
- まだ僕にははつきりとした夢がありません。講話を聞いて、目の前にある小さな目標を達成していく、その結果が夢というものにつながっていく信じて、1日1日を大切に進んでいきたいと思いました。
- 「挑戦しなければ何も始まらない」「身の回りには助けてくれる誰かが必ずいる」この言葉が心に残りました。支えてくれている人に感謝の気持ちをもち、これからいろいろなことを経験すると思いますが、一生懸命努力して、前だけを向いて、進んでいこうと思います。



学校

幼稚園
保育園

PTA

研修会

各種
会合

保護者会
等々

メディア安全指導員を派遣します!!

宮崎県では、乳幼児や青少年を取り巻く映像メディア利用の現状、危険性や対処法などを講話する「宮崎県メディア安全指導員」を養成し、県内の学校など様々なところからの要請に応じて派遣しています。

メディア安全指導員は、メディア利用に伴う影響や問題点、対応策などを、子どもの育ちに関する研修会や授業等で、受講者（小・中・高校生・保護者等）の視点に合わせた講話を行います。

子どもは、ゲーム機、スマートフォン、テレビなどの映像メディアに長時間接触することで、脳や目など身体の発達や学業にも様々な影響を受けています。

乳幼児や青少年を取り巻く映像メディアの現状には、日本小児科医会なども警鐘を鳴らしています。小・中・高校生の皆さん、子育て中の保護者の方々、映像メディアとの上手なつきあい方を学んでみませんか？

※ 派遣には、謝金と旅費が必要です。

詳しくは下記に
お問い合わせください！



宮崎県こども家庭課

お問合わせ先

公益社団法人宮崎県青少年育成県民会議

Tel : 0985-26-7041 Fax : 0985-26-3416

Mail : miyazaki-sik@ab.auone-net.jp



メディア安全指導員派遣の様子

宮崎第一高等学校



田園の里 新田学園

